

辻よし子議員、たばたあずみ議員、松本ゆき子議員及び関口えり子議員に反省を求める決議

辻よし子議員、たばたあずみ議員、松本ゆき子議員及び関口えり子議員は、令和5年9月1日に行われた本会議の一般会計補正予算（第6号）の審議において、突如、動議を出して、一般会計補正予算案の修正案を提出した。補正予算案の内容に異論がある際に、修正案を提出して臨む姿勢については評価するところだが、そもそも議案としての体裁が整っていない状態で提出されたため、その取扱いを巡って審議が長時間に渡って中断し、有ろう事か本会議を混乱させた挙句に、撤回する事態に至ったことは極めて問題であると言わざるを得ない。

また、この不適切な内容については、提出後の質疑等によって明らかになったところであるが、提出者全員の認識不足に加え、本来、修正予算案を提出する際に整えるべき作業を怠ったために生じた事態と言わざるを得ない。特に、動議により修正予算案を提出する覚悟があるのであれば、単純な誤字脱字はあり得ないはずであり、言語道断と言わざるを得ない。そもそも提出者4人が責任を持ってダブルチェック、トリプルチェックすることが本来の姿であるべきだが、それすら怠っていたものであり、提出者として名前を連ねる以上、議会人としての責任であり、基本的な姿勢に問題があったものと指摘せざるを得ないところである。

加えて、一連の混乱の間、夕刻の閉庁時間にもかかわらず、無用に長時間、職員を拘束させ続けたことについても看過できないところである。

さらに、この修正予算案の提出に向けては、その提出について、提出者が議会運営委員会の委員であったにも関わらず、この委員会の場で提出の可能性について伝えられることもなく、しかも、水面下で一部の会派にのみ事前に情報提供されたため、この修正予算案の動議を出すことを承知していたのは一部の会派に限られた状況であった。このような公平ではない進め方は、あきる野市議会ですべて培ってきた議会の円滑な運営をも無視した行為であり、このような不誠実な態度は、今後の議会のあり方について禍根を残すことになると強く憂慮している。

よって、あきる野市議会は、4人の議員に対して、今回の件について遺憾の意を表するとともに、反省し、今後同じようなことがないよう強く求める。

以上、決議する。

令和5年9月27日 東京都あきる野市議会